

# PRIME … PC 構成情報管理システム

PRIME : PC Resource Information Management Environment



## 目次

1. システム概要・特徴 .....	2
2. システム構成 .....	4
3. ソフトウェア構成 .....	5
4. 動作環境 .....	7
5. インストール方法 .....	8
6. 操作方法 .....	9
7. 使用条件 .....	21
8. 著作権・免責事項 .....	21
9. 連絡先 .....	21
付録1 … PrimeControl.ini のサンプル .....	22
付録2 … PrimeAgent.ini のサンプル .....	23
付録3 … PrimeInfo.dat のサンプル .....	25
付録4 … SQL サーバおよび MSDE のデータベースセットアップ手順 .....	29
付録5 … データベース (PRIME) のテーブル (TBL_PRIME) の内容 .....	34

Rev.01

2003.10.20

Winningball.com

## 1. システム概要・特徴

ネットワーク接続されている PC の構成情報(ハードウェア情報やソフトウェア情報)を定期的に収集、管理するシステムです。管理対象とする PC に小型のエージェントプログラムをインストールすることで、以下のような PC 構成情報を取得します。

また、システム管理プログラムを使って、エージェントプログラムを制御することが可能です。

### 1 - 1. エージェントプログラム

PC 構成情報を取得するための小型エージェントプログラムです。

【取得可能な情報】

- コンピュータ名
- オペレーティングシステム
- オペレーティングシステムバージョン、オペレーティングシステムビルド番号
- オペレーティングシステムサービスパック
- プロセッサタイプ、プロセッサ数、プロセッサレベル、プロセッサスピード、プロセッサリビジョン
- Windows ディレクトリ、System ディレクトリ、Temporary ディレクトリ
- キーボードタイプ、ファンクションキーの数
- 画面解像度
- 物理メモリ、物理メモリ(利用可能)
- 仮想メモリ、仮想メモリ(利用可能)、ページファイル、ページファイル(利用可能)
- メモリ使用率
- システム稼動時間
- ユーザ名、参加ネットワーク、参加ネットワークタイプ(ワークグループ or ドメイン)
- 通常使うプリンタ
- ネットワークアダプタ
- MAC アドレス
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレス
- ホスト名、インターネットドメイン名
- Primary WINS サーバアドレス、Secondary WINS サーバアドレス
- DHCP サーバアドレス、DHCP リース取得日時、DHCP リース期限
- ドライブ種類(A~Z)、ボリューム名(A~Z)、ファイルシステム(A~Z)、ドライブ容量(A~Z)、空き容量(A~Z)
- PrimiInfo.dat のバージョン … PC 構成情報収集のためのテンプレートファイルの作成日付
- レジストリ情報  
(レジストリの値データの取得、レジストリのサブキーの存在チェックが可能です OS 毎に異なる設定が可能です)
  - Internet Explorer バージョン … HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Internet Explorer¥Version
  - 修正プログラム MS03-026 の適用 … HKEY\_LOCAL\_MACHINE;SOFTWARE¥Microsoft¥Updates¥Windows 2000¥SP5¥KB823980
  - 使用者(マイコンピュータのプロパティ) … HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥RegisteredOwner
  - ウィルス対策ソフトのパターンファイルバージョン … (レジストリの場所はソフトウェアによる)
  - その他レジストリ情報
- ファイルやフォルダの存在情報  
(ファイルの存在チェック、フォルダの存在チェックが可能です)
  - Acrobat Reader の存在確認 … C:¥Program Files¥Adobe¥Acrobat 5.0¥Reader¥AcroRd32.exe
  - NetMeeting の存在確認 … C:¥Program Files¥NetMeeting¥conf.exe
  - その他ファイルやフォルダの存在情報

レジストリ情報、ファイルやフォルダの存在情報はシステム管理者が自由に設定できます。

#### 【特徴】

- PC 構成情報を取得するタイミング(曜日/時間指定、日付/時間指定)を設定できます。
- エージェントプログラム起動時に PC 構成情報を取得するかどうか設定できます。
- PC 構成情報を取得後、エージェントプログラムを終了するか設定できます。
- PC 構成情報をデータベース(Microsoft SQL Server or Microsoft Data Engine)に書き込むか、FTP サーバへアップロードするか、メールで送信するか設定できます。複数選択が可能です。
- データベースに書き込む場合は、SQL サーバもしくは MSDE(Microsoft Data Engine)に関する情報設定(接続文字列、テーブル名、コンピュータ名、ユーザ ID、パスワード)ができます。
- FTP サーバへアップロードする場合は、FTP サーバに関する情報設定(FTP サーバのアドレス、ポート、保存ディレクトリ、ユーザ ID、パスワード等)ができます。
- メールで送信する場合は、宛先に関する情報設定(メールアドレス、SMTP サーバ、SMTP ポート、発信者アドレス、メールのタイトル)ができます。
- エージェントプログラムの稼動ログを表示します。
- エージェントプログラムのサービスポートを設定できます。

Microsoft SQL サーバを利用する場合は必要なソフトウェアライセンスを準備してください。  
詳しくはマイクロソフト社の Web サイトを参照願います。

また、FTP サーバへアップロードする場合は FTP サーバを、メール送信の場合はメールサーバを用意してください。

## 1 - 2 . システム管理プログラム

エージェントプログラムの制御やエージェントプログラムの環境ファイルのマスター管理、データベースの操作をすることが可能です

#### 【エージェントプログラム制御機能・特徴】

- エージェントプログラムに対して PC 構成情報取得の即時実行命令を発信できます。
- エージェントプログラムの再起動および停止させることができます。
- エージェントプログラムのインストールフォルダ内のファイルを更新できます。
- エージェントプログラム(稼動中)をバージョンアップすることができます。
- 以上の機能について複数の管理対象 PC に対して同時に実行することができます。
- エージェントプログラムのインストールフォルダ内のファイル(実行結果等)を閲覧できます。
- エージェントプログラムの環境ファイル(PrimeAgent.ini)の編集(行単位)ができます。
- エージェントプログラムの稼動ログを閲覧できます。

#### 【環境ファイルのマスター管理機能】

- エージェントプログラムの環境ファイル(PrimeAgent.ini)のマスター管理が行えます。
- エージェントプログラムの情報収集テンプレートファイル(PrimeInfo.dat)のマスター管理が行えます。

#### 【データベース操作・管理機能】

- データベース(SQL サーバおよび MSDE)の検索機能があります。抽出したいフィールド名の指定や任意の条件指定をすることも可能です。
- データベース(SQL サーバおよび MSDE)のテーブル管理(フィールドの追加、更新、削除)が行えます。

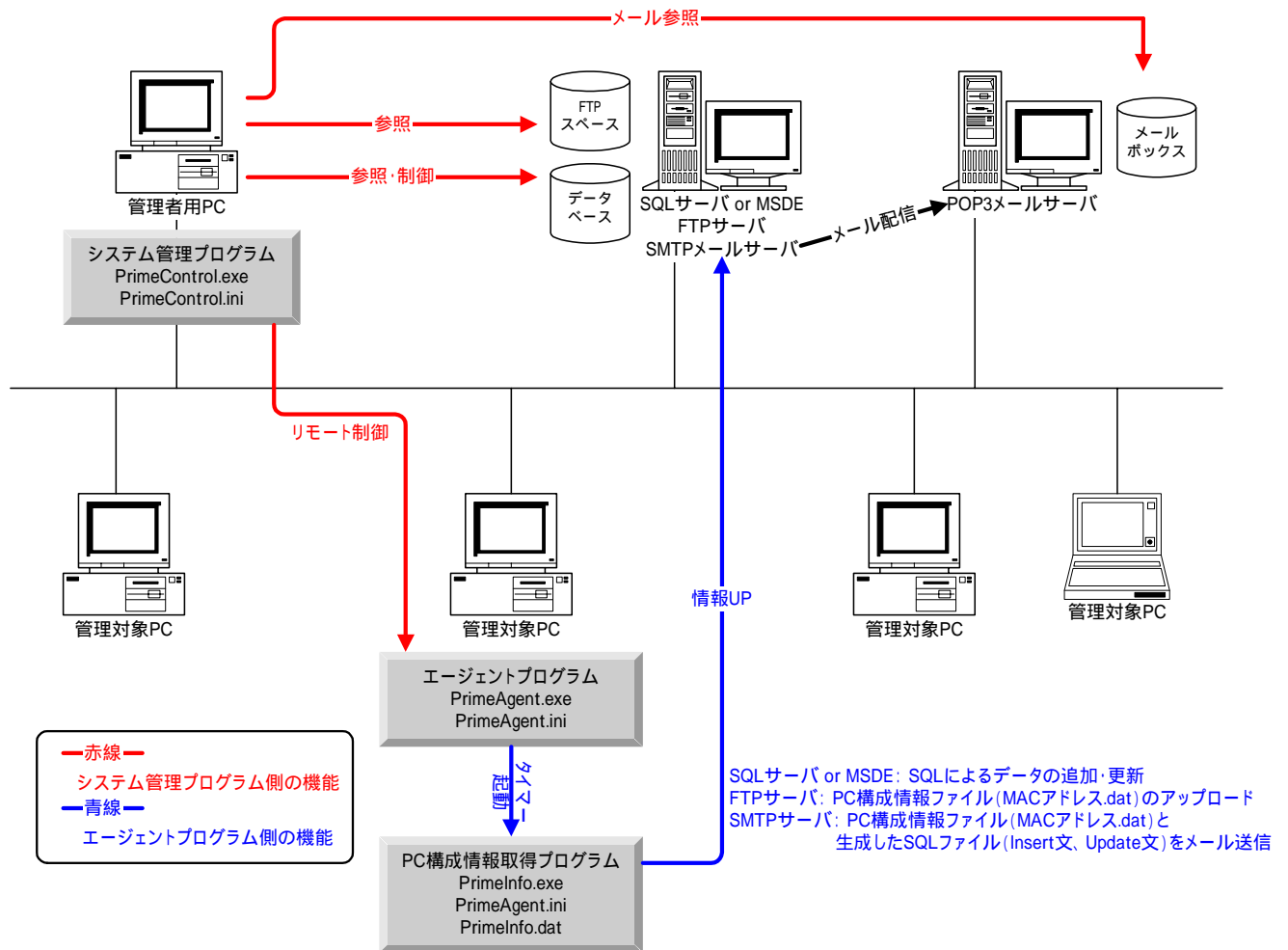
## 2. システム構成

### 【システム管理者】

PC にシステム管理プログラム「PrimeControl.exe」をインストールします。「PrimeControl.exe」を利用することで管理対象 PC のエージェントプログラムを制御します。データベースの操作も行います。

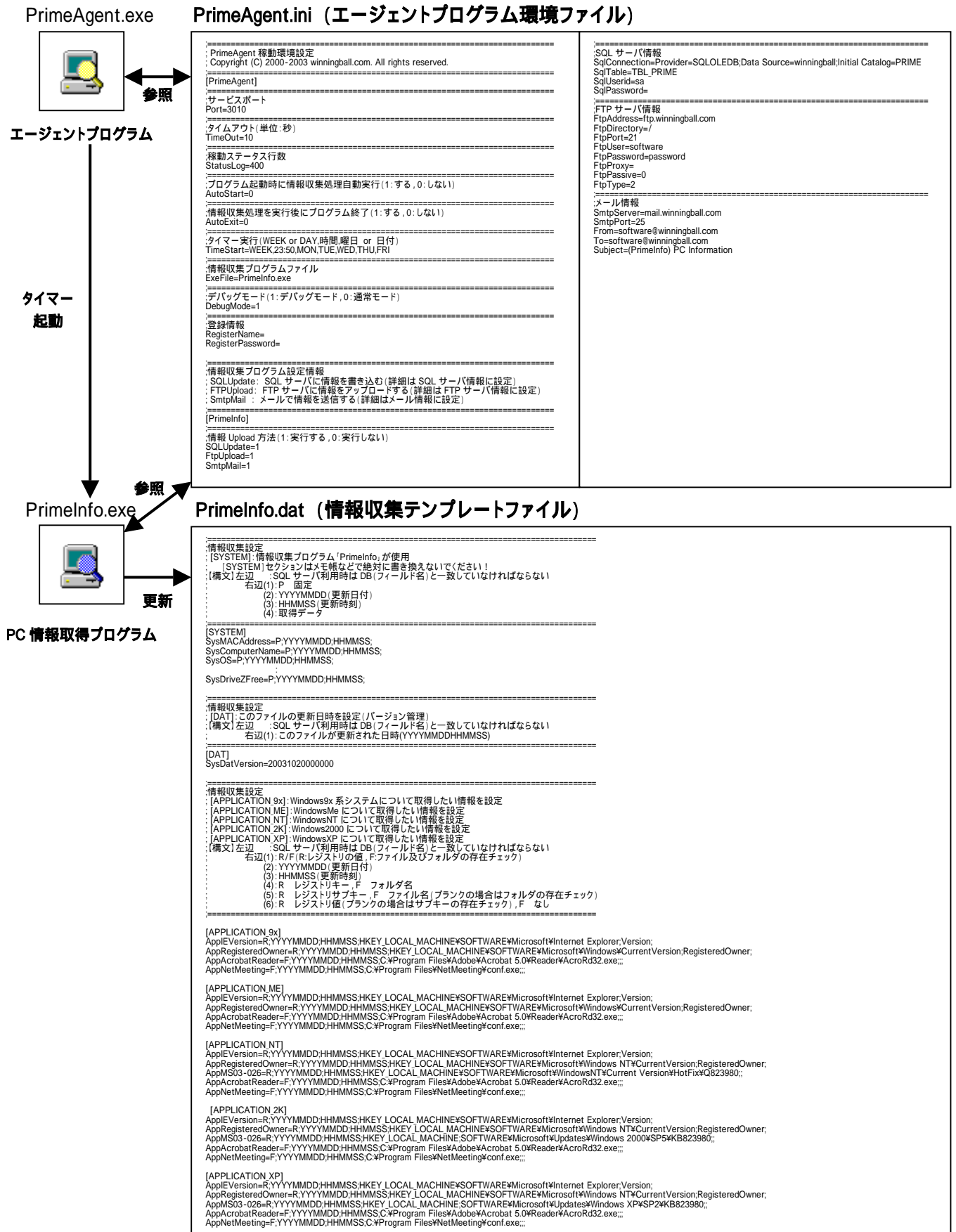
### 【管理対象 PC】

PC に小型のエージェントプログラム「PrimeAgent.exe」をインストール、常時稼働(タスクトレイ)させます。「PrimeAgent.exe」はタイマー機能により、定期的に PC 構成情報取得プログラム「PrimeInfo.exe」を起動します。「PrimeInfo.exe」は環境ファイル「PrimeAgent.ini」に設定されたパラメータに従って取得した PC 構成情報をデータベースに書き込んだり、FTP によりファイル転送したり、メールにて管理者宛に送信したりします。





## 【エージェントプログラム】



## 4. 動作環境

動作オペレーティングシステムは日本語 Windows NT/2000/XP です。  
Windows 98 や Windows Me でもエージェントソフトの PC 構成情報収集は機能しますが、システム管理プログラムからの制御は受け付けません。また、Windows 98 や Windows Me では一部取得できない PC 構成情報があります。

TCP/IP をベースとした環境で Windows ネットワークを利用している必要があります。

エージェントプログラムおよびシステム管理プログラムの実行には VB6 のランタイムライブラリが必要です。

エージェントプログラムが取得した PC 構成情報の反映先に応じてサーバが必要です。

- データベースに書き込む場合：Microsoft SQL サーバもしくは MSDE (Microsoft Data Engine)
- FTP でアップロードする場合：FTP サーバ
- メール送信する場合：SMTP サーバと宛先となるメールアドレス

Microsoft SQL サーバを利用する場合は必要なソフトウェアライセンスを準備してください。  
詳しくはマイクロソフト社の Web サイトを参照願います。  
また、FTP サーバへアップロードする場合は FTP サーバを、メール送信する場合はメールサーバを用意してください。

### 【管理対象とする PC】

PC にエージェントソフトをインストールすると以下のファイルがコピーされます。

#### PrimeAgent

!-- PrimeAgent.exe	エージェントプログラム本体 (プログラム)
!-- PrimeAgent.ini	エージェントプログラム実行環境ファイル
!-- PrimeInfo.exe	エージェントプログラム情報収集実行ファイル (プログラム)
!-- PrimeInfo.dat	エージェントプログラム情報収集テンプレートファイル
!-- PrimeUtil.exe	エージェントプログラムバージョンアップユーティリティ (プログラム)
!-- Prime 説明書.pdf	PRIME システム説明書 (PDF ファイル)

### 【管理者用 PC】

システム管理プログラムをインストールすると以下のファイルがコピーされます。

#### PrimeControl

!-- PrimeControl.exe	システム管理プログラム
!-- PrimeControl.ini	システム管理プログラム実行環境ファイル <sup>1</sup>
!-- PrimeControl.mm1	システム管理プログラム操作解説ファイル (その 1)
!-- PrimeControl.mm2	システム管理プログラム操作解説ファイル (その 2)
!-- PrimeControl.mm3	システム管理プログラム操作解説ファイル (その 3)
!-- Prime 説明書.pdf	PRIME システム説明書 (PDF ファイル)
!-- Samples ディレクトリ	
!-- PrimeAgent.ini	エージェントプログラム実行環境ファイル (マスター管理用) <sup>2</sup>
!-- PrimeInfo.dat	エージェントプログラム情報収集テンプレート (マスター管理用) <sup>3</sup>
!-- Database ディレクトリ	
!-- Prime.mdb	PRIME データベース作成用 Microsoft Access データベース アップサイジングウィザードを利用して、SQL サーバもしくは MSDE の環境セットアップを行います。 <sup>4</sup>

<sup>1</sup> サンプルは付録 1 に収録しています。

<sup>2</sup> サンプルは付録 2 に収録しています。

<sup>3</sup> サンプルは付録 3 に収録しています。

<sup>4</sup> 詳しくは付録 4、付録 5 を参照してください。

## 5. インストール方法

### 【エージェントプログラム】

エージェントプログラムのインストールプログラムを実行します。  
同時にエージェントプログラム実行のために必要な VB6 のランタイムライブラリが導入されます。  
最新版インストールプログラムはこちらからダウンロードしてください。  
<http://www.winningball.com/>

### 【システム管理プログラム】

システム管理プログラムのインストールプログラムを実行します。  
同時にエージェントプログラム実行のために必要な VB6 のランタイムライブラリが導入されます。  
最新版インストールプログラムはこちらからダウンロードしてください。  
<http://www.winningball.com/>

### 【データベース (SQL サーバもしくは MSDE)】

システム管理プログラムをインストールすると Database ディレクトリの中に Microsoft Access のデータベースファイル (Prime.mdb) がコピーされます。これを Microsoft Access のアップサイジングウィザードを利用して、Microsoft SQL サーバもしくは MSDE (Microsoft Data Engine) にデータベースを作成します。  
詳しい操作手順については付録4を参照してください。  
作成されたデータベースの詳細については付録5を参照してください。

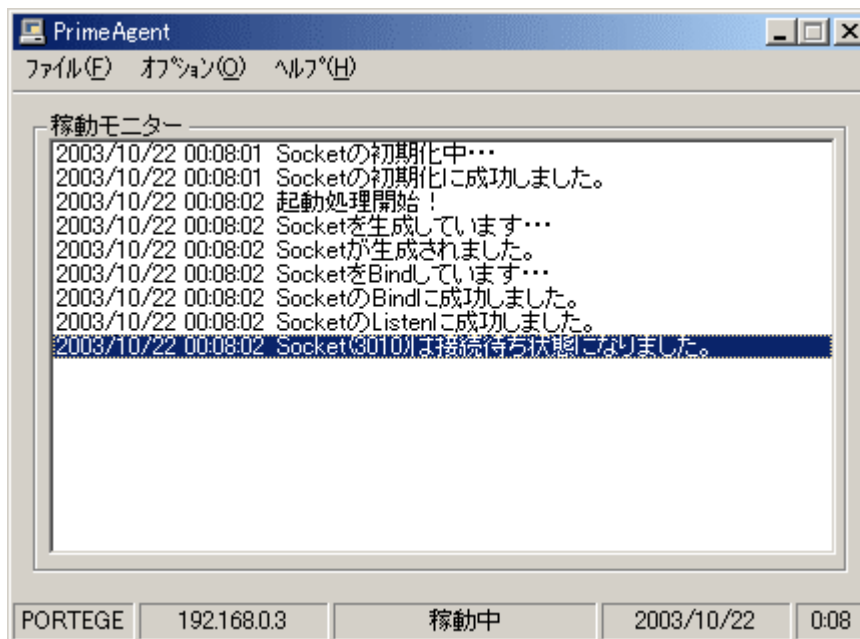
## 6. 操作方法

【エージェントプログラム(管理対象 PC)】

1. 「スタート」 「プログラム」 「Prime」 「PrimeAgent」を起動すると、タスクトレイに常駐します。



2. ダブルクリックすると、稼動モニター画面が表示されます。

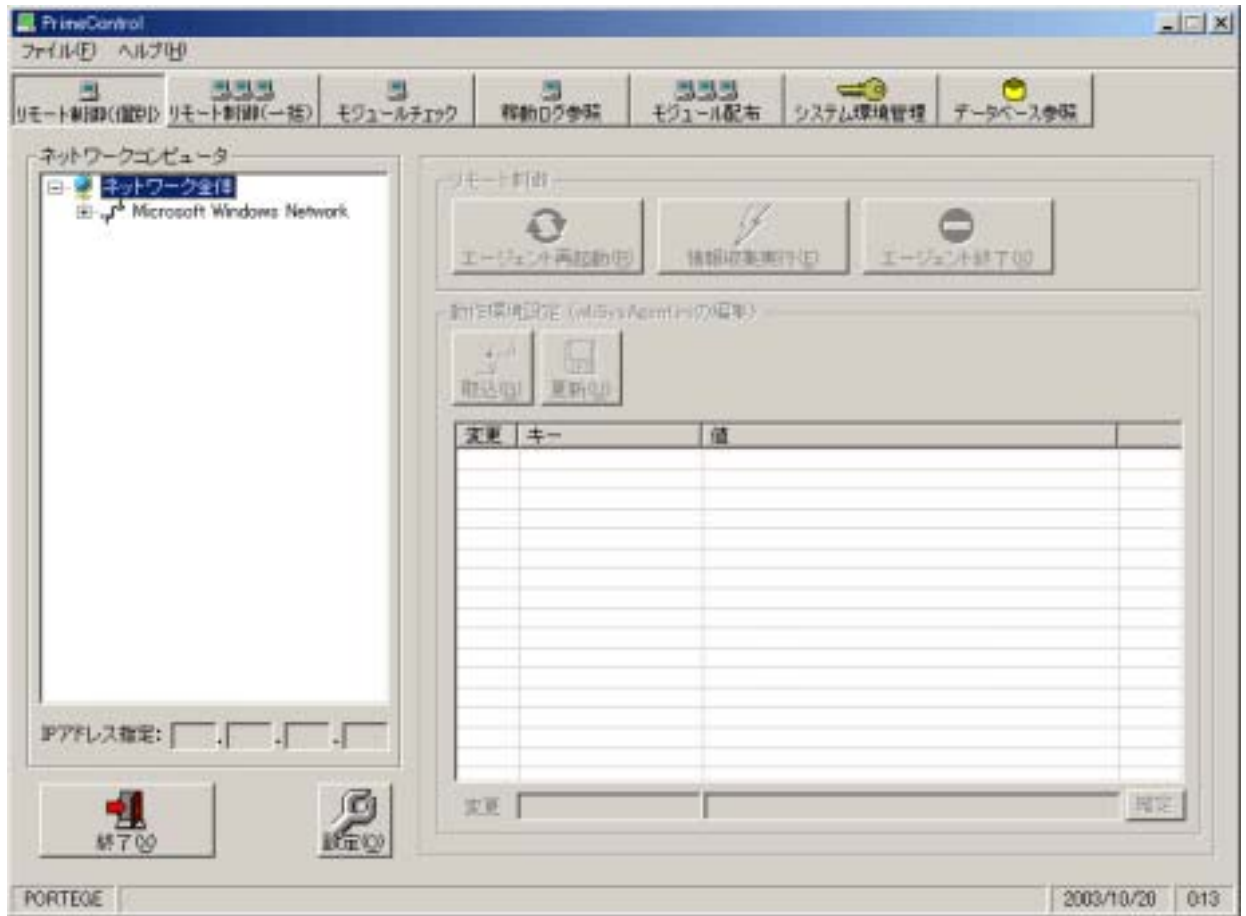


3. 通常は最小化(タスクトレイに格納)しておいてください。



【システム管理プログラム(管理者用 PC)】

1. 「スタート」「プログラム」「Prime」「PrimeControl」を起動するとメイン画面が表示されます。

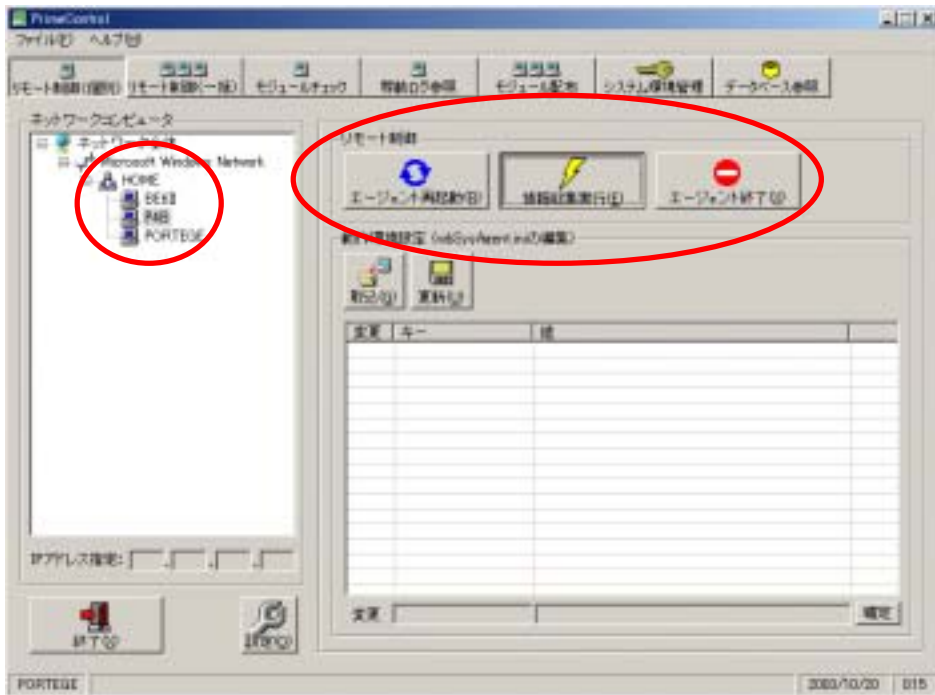


メニューボタンについて

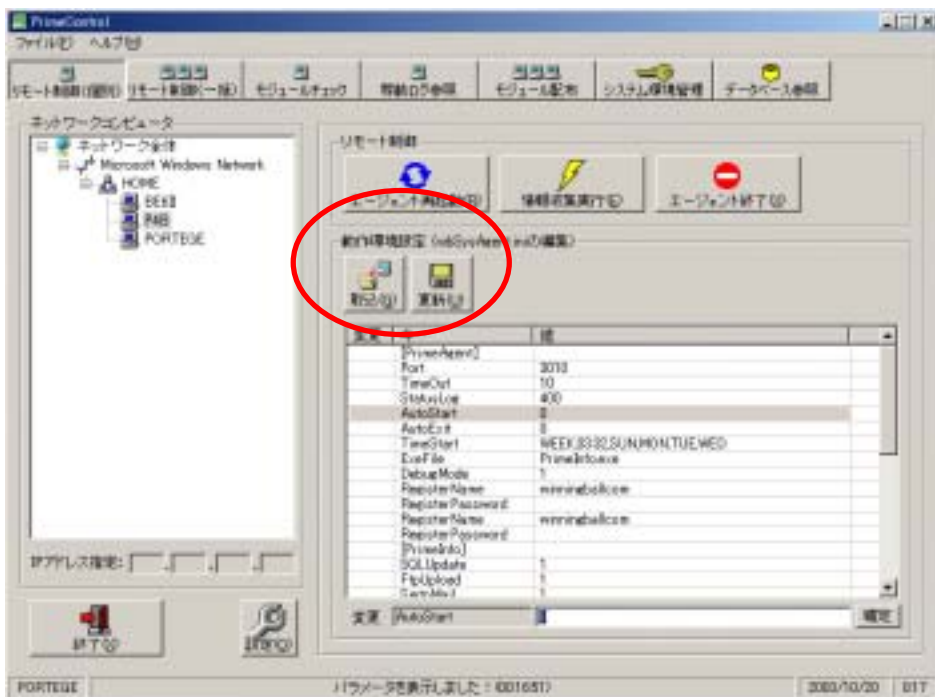
- ◆ リモート制御(個別) … 1台の PC(エージェントプログラム) に対してリモート制御を行います。
- ◆ リモート制御(一括) … 複数の PC(エージェントプログラム) に対してリモート制御を行います。
- ◆ モジュールチェック … エージェントプログラムインストールフォルダのファイルを確認します。
- ◆ 稼動ログ参照 … エージェントプログラムの稼動ログを参照します。
- ◆ モジュール配布 … エージェントプログラムインストールフォルダにモジュールを配信します。
- ◆ システム環境管理 … エージェントプログラムの環境ファイル、情報収集テンプレートファイルのマスター管理を行います。データベースのテーブル管理も行います。
- ◆ データベース参照 … データベースの内容を参照します。

## 2. リモート制御(個別)

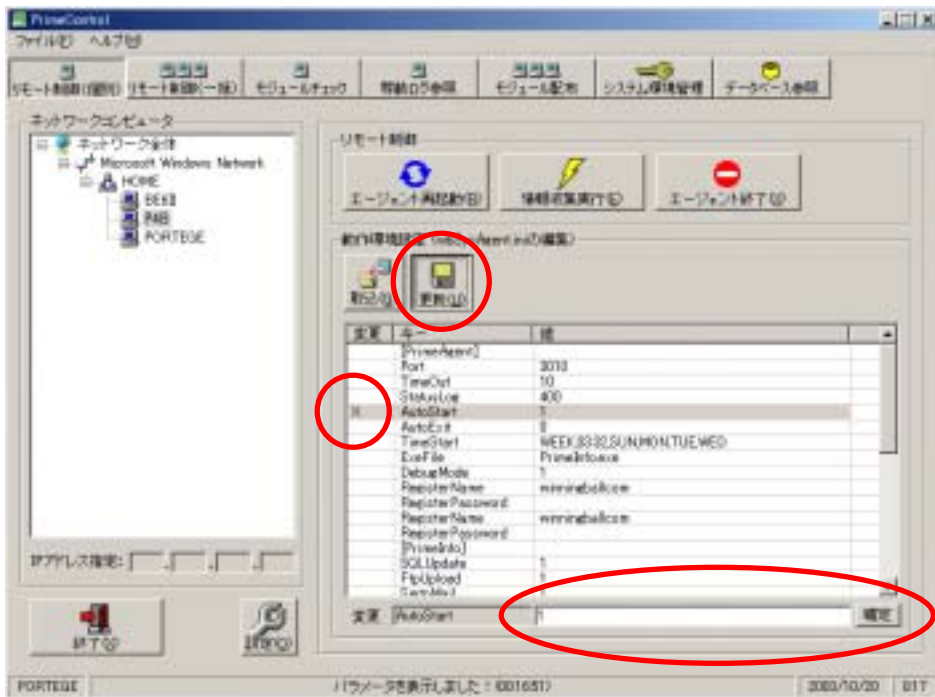
コンピュータを指定してエージェントプログラムの再起動、情報収集処理実行、エージェントプログラムの終了をさせることができます。



コンピュータを指定してエージェントプログラムの環境ファイル(PrimeAgent.ini)の編集を行うことができます。「取込」ボタンを押して環境ファイルを表示します。

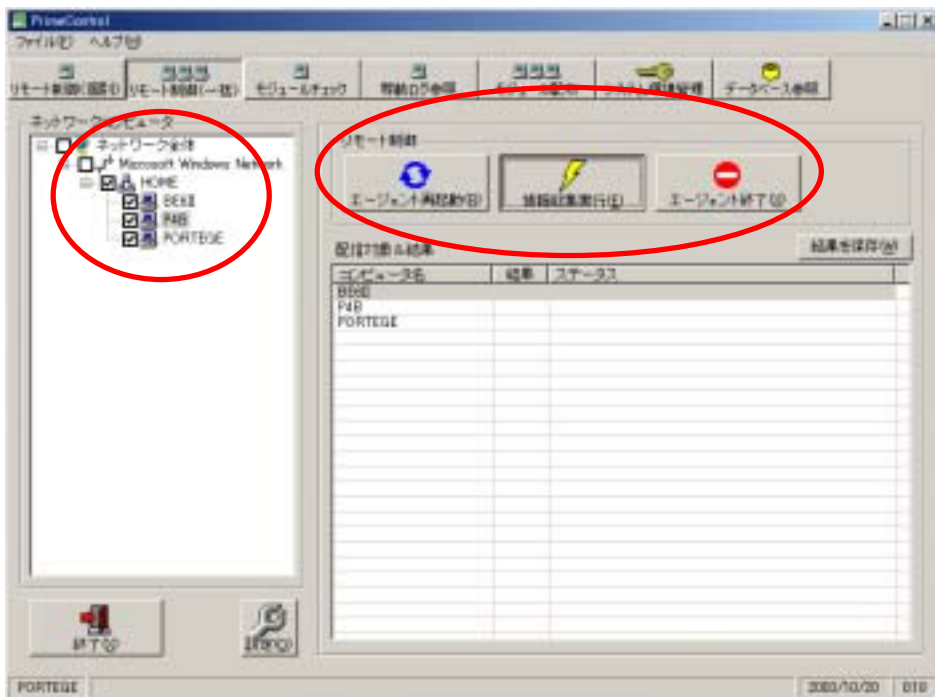


変更したいパラメータを選択し、値を変えた後に「確定」します。変更されようとしているパラメータは左側に「変更フラグ(x)」の印がつけられます。「更新」ボタンを押すと実際にリモートコンピュータの環境設定が変更されます。



### 3. リモート制御(一括)

複数のコンピュータを指定してエージェントプログラムの再起動、情報収集処理実行、エージェントプログラムの終了をさせることができます。

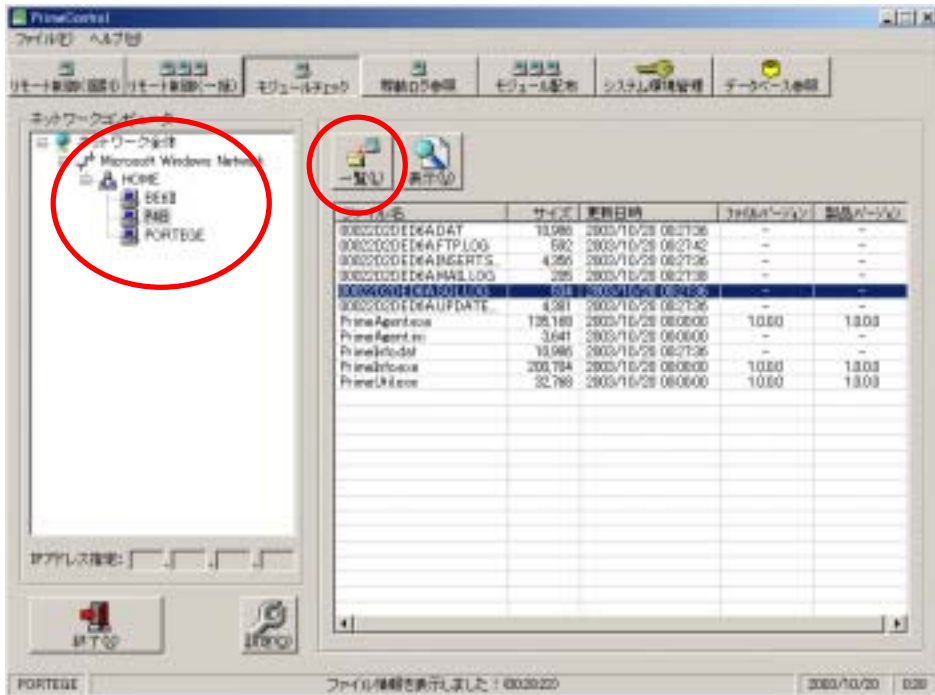


実行結果が表示されます。「結果を保存」ボタンを押すと、実行結果の一覧を CSV ファイルに保存することができます。

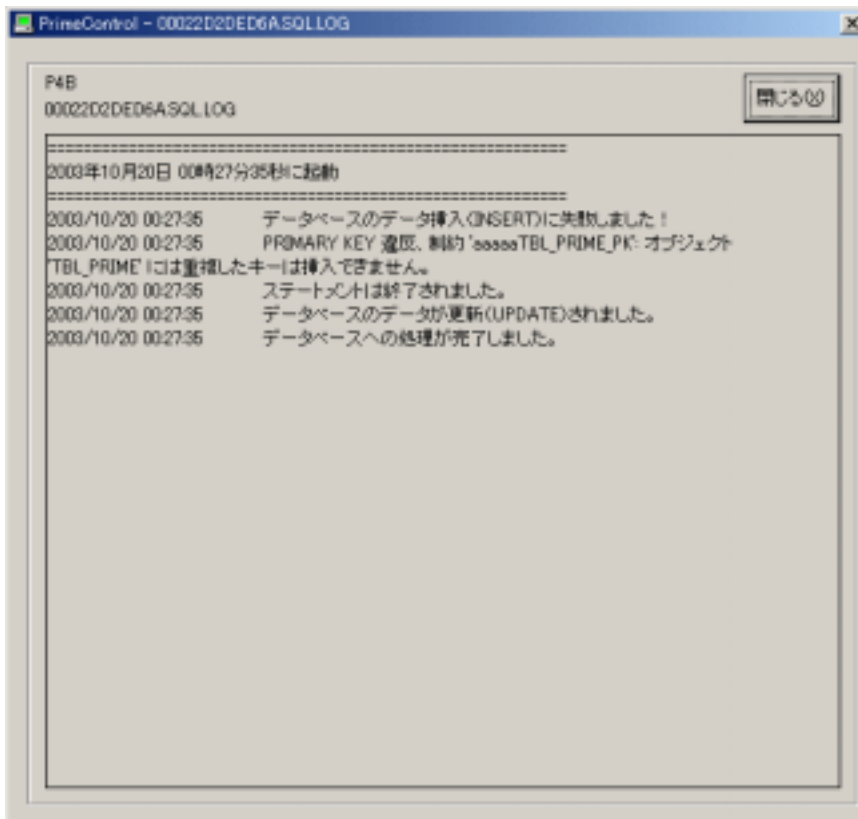


#### 4. モジュールチェック

コンピュータを指定して「一覧」ボタンを押すと、エージェントプログラムのインストールディレクトリに存在するファイルの一覧(サイズ、更新日時、バージョン等)を表示させることができます。

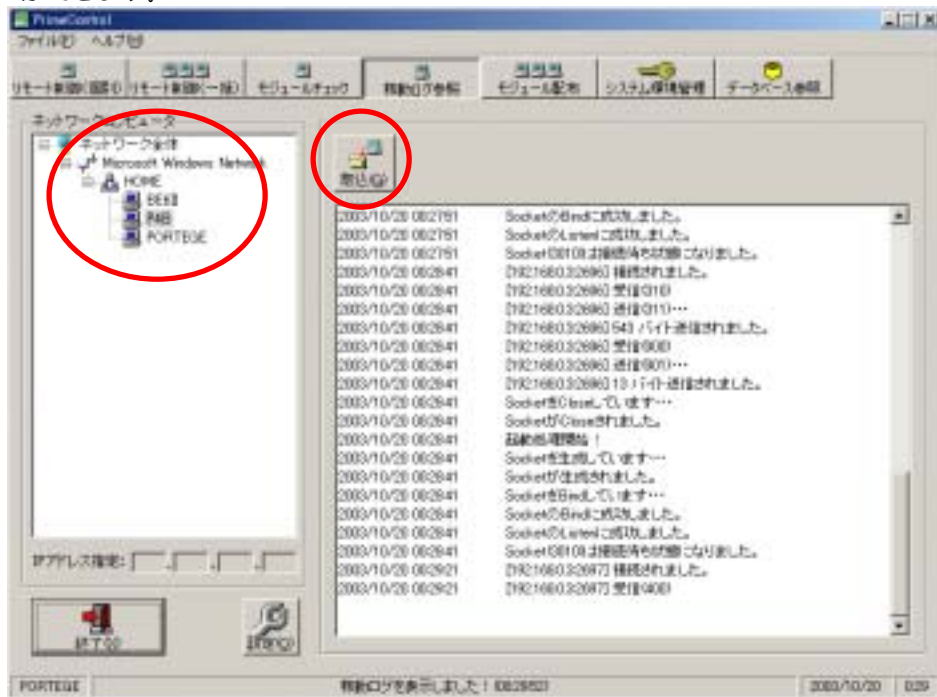


ファイル名を選択し「表示」ボタンを押すと、ファイルの中身を参照できます。環境設定ファイルの内容や、実行結果(ログファイル)を確認するのに有効です。



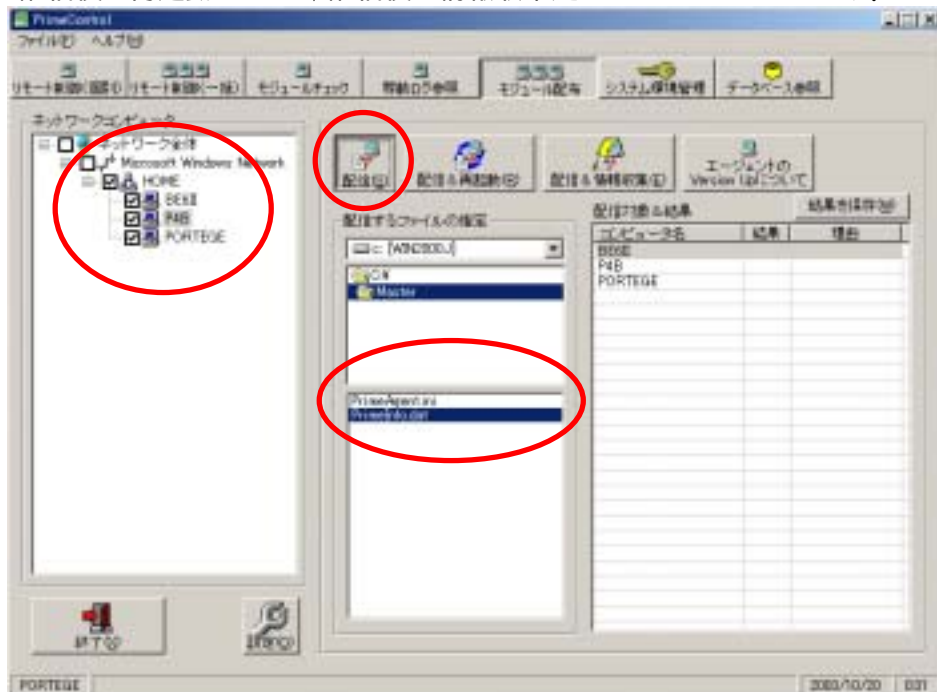
## 5. 稼動ログ参照

コンピュータを指定して「取込」ボタンを押すと、エージェントプログラムの稼動ログを表示させることができます。

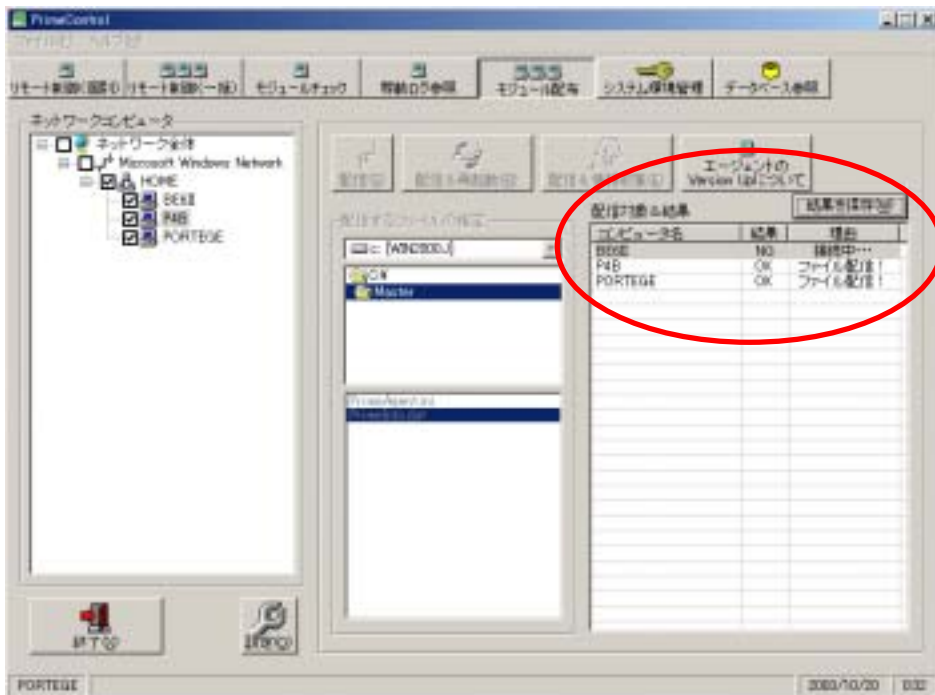


## 6. モジュール配布

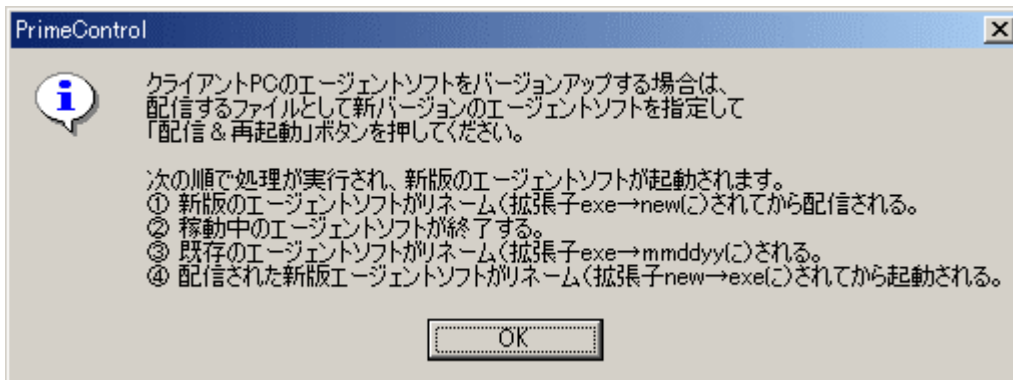
コンピュータ(複数可)に対してプログラムモジュールや環境ファイルなどを配信することができます。配信後に再起動させたり、配信後に情報収集処理をさせることもできます。



配信処理結果が表示されます。「結果を保存」ボタンを押すと結果を CSV ファイルに保存することができます。



配信するファイルとしてエージェントプログラム本体 (PrimeAgent.exe) を指定することでエージェントプログラムのバージョンアップが可能です。手順等詳細については「エージェントの Version Up について」ボタンを押して解説を読んでください。



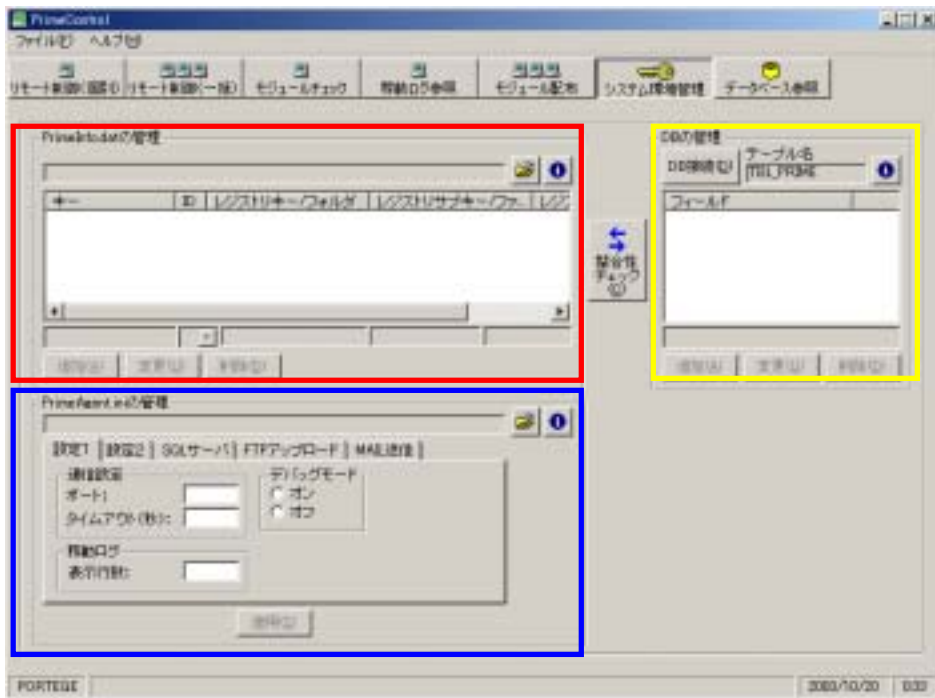
## 7. システム環境管理

エージェントプログラムの情報収集テンプレートファイルのマスター管理を行います。(赤枠)

エージェントプログラムの環境ファイルのマスター管理を行います。(青枠)

データベースのテーブル管理を行います。(黄枠)

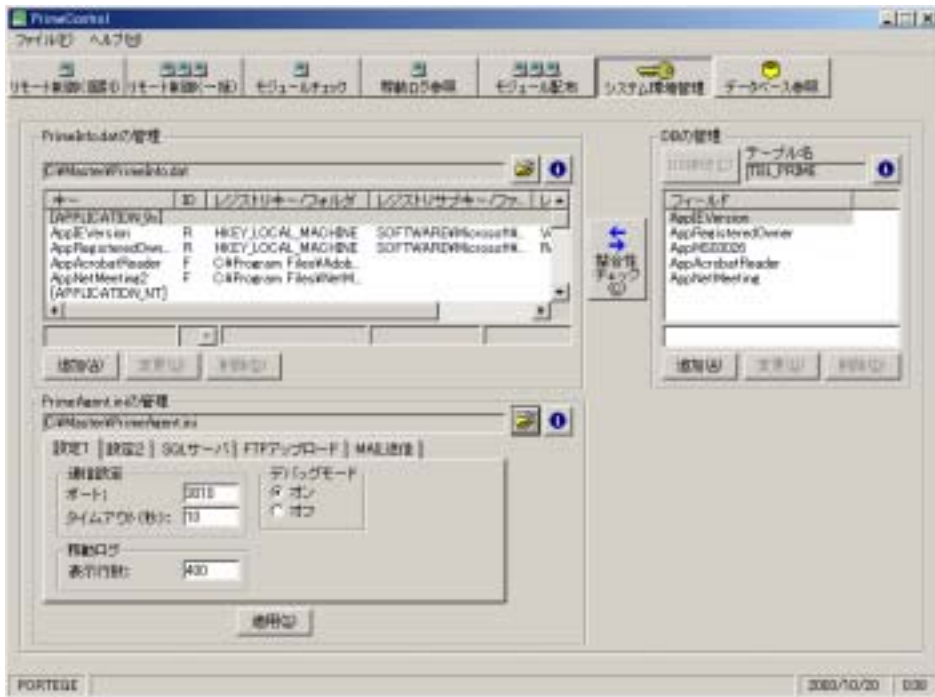
情報収集テンプレートファイルとデータベースのテーブルの整合性チェックを行うことができます。



PrimeInfo.dat のマスターファイルを開きます。

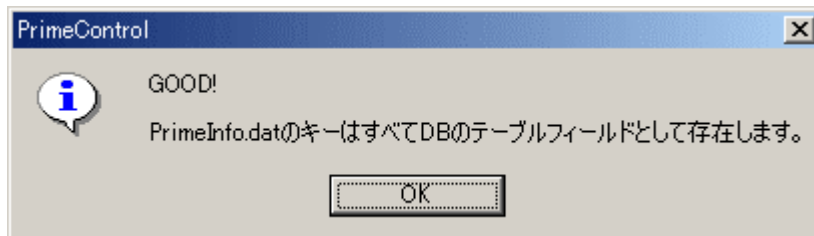
PrimeAgent.ini のマスターファイルを開きます。

DB への接続を行います。

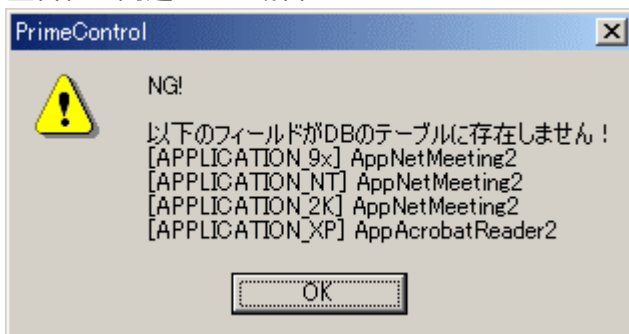


「追加」「変更」「削除」ボタンを使って、PrimeInfo.dat のマスターファイルの編集を行います。  
セクション名を選んだ時のみ「追加」が可能です。  
同様に「追加」「変更」「削除」ボタンを使って DB のフィールドの編集を行います。  
「整合性チェック」を行うと、PrimeInfo.dat と DB の整合性をチェックし、結果を表示します。

#### 整合性に問題がない場合

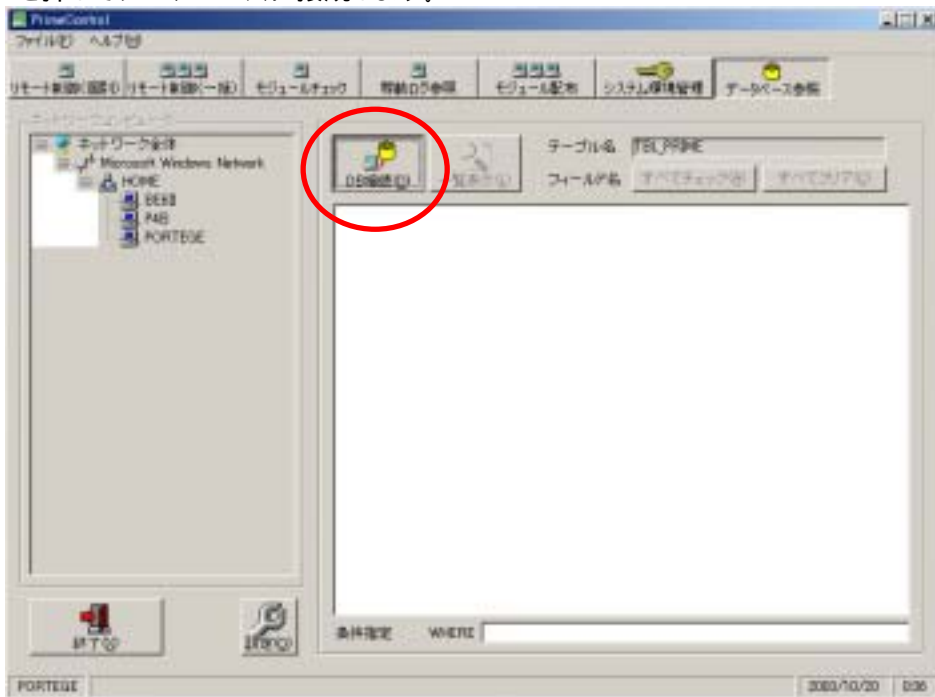


#### 整合性に問題がある場合

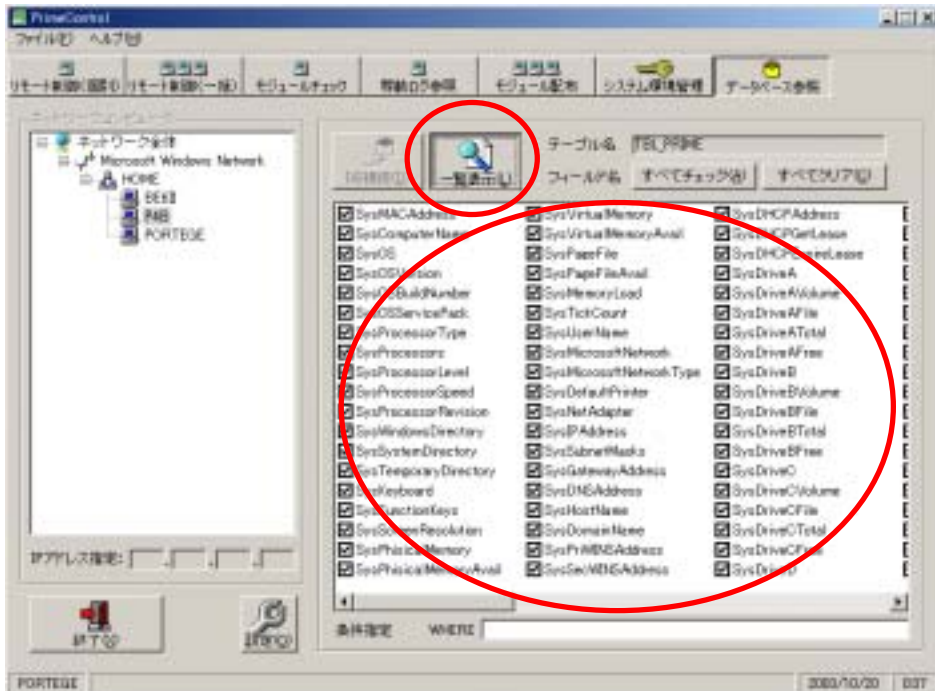


## 8. データベース参照

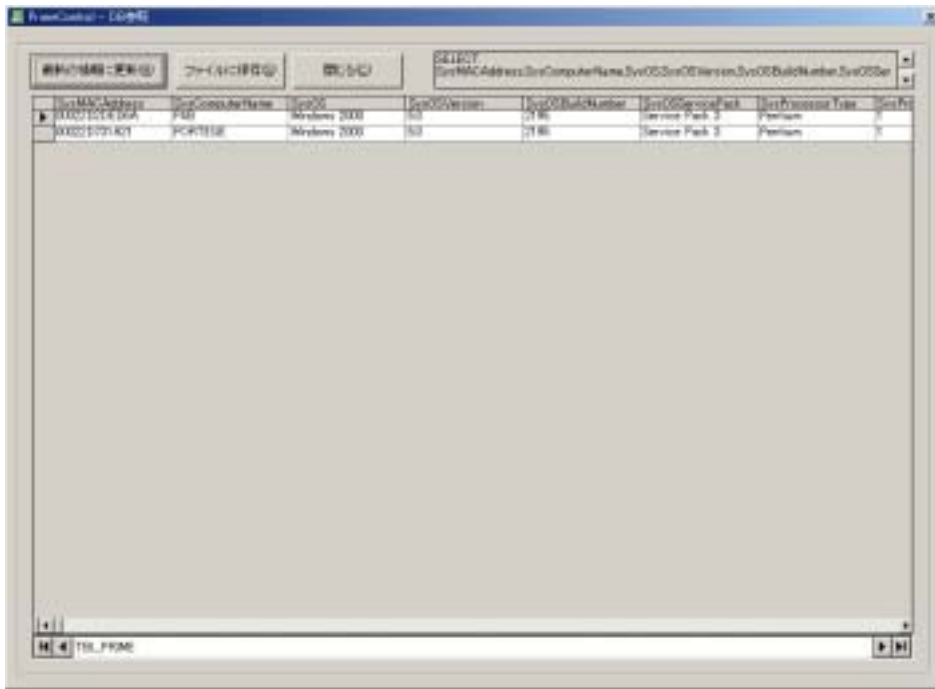
PC 構成情報管理データベース (SQL サーバもしくは MSDE) を参照します。最初に「DB 接続」ボタンを押してデータベースに接続します。



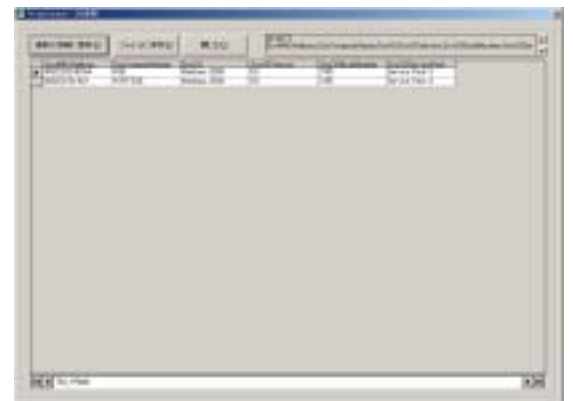
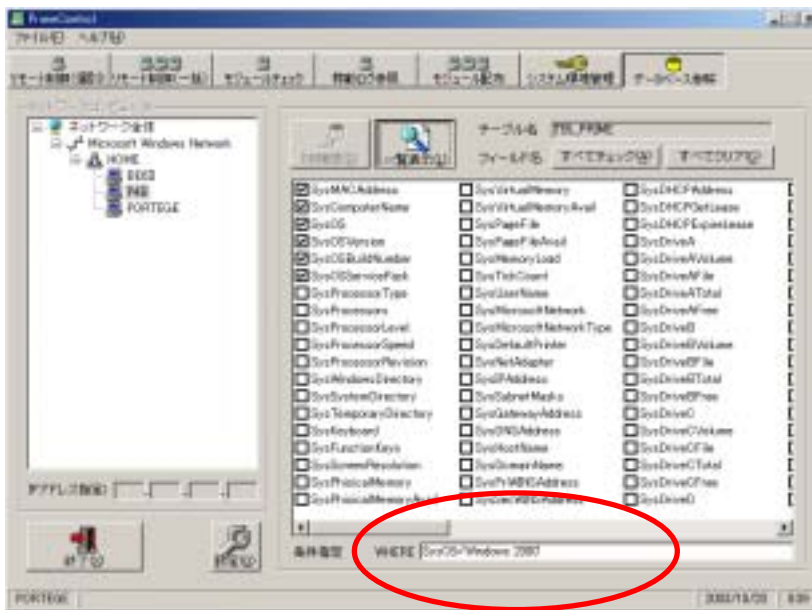
テーブルに定義されたフィールド名が一覧表示されますので参照したいフィールドを選択し、「一覧表示」ボタンを押します。「すべてチェック」をクリックするとすべてのフィールドを選択します。



データベースの内容が表示されます。



「一覧表示」する際に、条件指定 (SQL の WHERE 句指定) を行うことが可能です。



## 7. 使用条件

### 【シェアウェア】

「PRIME」はシェアウェアです。

試用期間中はエージェントソフト起動時にシェアウェアであるメッセージが表示されることがありますが、機能制限はありません。

継続して使用される場合はシェアウェア料金を送金する必要があります。ソフト本体をダウンロードして、十分に動作確認を行ってから送金してください。送金後の返金はできません。詳しくは作者ホームページ(<http://www.winningball.com/>)をご覧ください。

また、この代金は「PRIME」を動作させる為の登録ユーザ及び登録コードの代金であり、サポート費用は一切含まれておりません。

作者のサポートは、好意であり義務ではありません。

### 【雑誌等の掲載や転載】

雑誌等の掲載や転載に関しては、著作者に連絡をお願いします。その都度お返事をいたします。特別な事情がない限り内容を改訂しないことが条件になります。

ご質問・お問合せは [software@winningball.com](mailto:software@winningball.com) まで。

## 8. 著作権・免責事項

### 【著作権】

- このプログラムの著作権は作者 [winningball.com](http://winningball.com) が保持します。
- プログラムの一部または全部を逆アセンブル、逆コンパイルしてはなりません。
- シェアウェアのパスワードなど、重要な情報を漏洩してはなりません。

### 【免責事項】

- 本ソフトウェアを用いた結果による全ての損害や免失利益などについて、作者は一切の責任を負いません。
- すべて使用者自身の責任においてお使い下さい。

## 9. 連絡先

### 【電子メール】

いろいろなご指摘をいただいた方には大変感謝しております。

おたより、質問、バグ情報等もお待ちしております。

電子メールアドレス: [software@winningball.com](mailto:software@winningball.com)

### 【ホームページ】

最新版はこちらから。その他いろいろなソフトウェアも掲載しています。

<http://www.winningball.com/>

以上

## 付録1 … PrimeControl.ini のサンプル

```
=====  
; PrimeControl 稼働環境設定  
; Copyright (C) 2001-2003 winningball.com. All rights reserved.  
=====  
[PrimeControl]  
=====  
; サービスポート  
=====  
Port=3010  
=====  
; タイムアウト(単位:秒)  
=====  
TimeOut=20  
=====  
; 同時リモート制御台数(最大)  
=====  
MaxControl=5  
=====  
; SQL サーバ情報  
=====  
SqlConnection=Provider=SQLOLEDB;Data Source=portege;Initial Catalog=PRIME  
;SqlConnection=Provider=SQLOLEDB;Data Source=portege,81;Initial Catalog=PRIME  
SqlTable=TBL_PRIME  
SqlUserid=sa  
SqlPassword=  
=====  
; 登録情報  
=====  
RegisterName=  
RegisterPassword=
```

## 付録2 … PrimeAgent.ini のサンプル

```
=====  
; PrimeAgent 稼働環境設定  
; Copyright (C) 2001-2003 winningball.com. All rights reserved.  
=====  
[PrimeAgent]  
=====  
; サービスポート  
Port=3010  
=====  
; タイムアウト(単位:秒)  
TimeOut=10  
=====  
; 稼働ステータス行数  
StatusLog=400  
=====  
; プログラム起動時に情報収集処理自動実行(1:する,0:しない)  
AutoStart=0  
=====  
; 情報収集処理を実行後にプログラム終了(1:する,0:しない)  
AutoExit=0  
=====  
; タイマー実行(WEEK or DAY,時間,曜日 or 日付)  
TimeStart=WEEK,23:50,MON,TUE,WED,THU,FRI  
; TimeStart=DAY,01:30,1,15  
=====  
; 情報収集プログラムファイル  
ExeFile=PrimeInfo.exe  
=====  
; デバッグモード(1:デバッグモード,0:通常モード)  
DebugMode=1  
=====  
; 登録情報  
RegisterName=  
RegisterPassword=  
=====  
; 情報収集プログラム設定情報  
; SQLUpdate: SQL サーバもしくは MSDE に情報を書き込む(詳細は SQL サーバ情報に設定)  
; FTPUpload: FTP サーバに情報をアップロードする(詳細は FTP サーバ情報に設定)  
; SmtMail : メールで情報を送信する(詳細はメール情報に設定)  
=====  
[PrimeInfo]  
=====  
; 情報 Upload 方法(1:実行する,0:実行しない)  
SQLUpdate=1  
FtpUpload=1  
SmtMail=1  
=====  
; SQL サーバ情報  
SqlConnection=Provider=SQLOLEDB;Data Source=winningball;Initial Catalog=PRIME  
; SqlConnection=Provider=SQLOLEDB;Data Source=winningball,81;Initial Catalog=PRIME  
SqlTable=TBL_PRIME  
SqlUserid=sa  
SqlPassword=
```

```
=====
;FTP サーバ情報
FtpAddress=ftp.winningball.com
FtpDirectory=/foo/bar
FtpPort=21
FtpUser=username
FtpPassword=password
FtpProxy=
FtpPassive=0
FtpType=2
=====
;メール情報
SmtpServer=mail.winningball.com
SmtpPort=25
From=software@winningball.com
To=software@winningball.com
Subject=(PrimeInfo) PC Information
```

### 付録3 … PrimInfo.dat のサンプル

```
=====
; 情報収集設定
; [SYSTEM]: 情報収集プログラム 'PrimInfo' が使用
; [SYSTEM] セクションはメモ帳などで絶対に書き換えないでください!
; [構文] 左辺 : SQL サーバ利用時は DB (フィールド名) と一致していなければならない
;         右辺(1): P 固定
;         (2): YYYYMMDD (更新日付)
;         (3): HHMMSS (更新時刻)
;         (4): 取得データ
=====
```

```
[SYSTEM]
SysMACAddress=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysComputerName=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysOS=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysOSVersion=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysOSBuildNumber=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysOSServicePack=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysProcessorType=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysProcessors=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysProcessorLevel=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysProcessorSpeed=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysProcessorRevision=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysWindowsDirectory=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysSystemDirectory=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysTemporaryDirectory=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysKeyboard=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysFunctionKeys=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysScreenResolution=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysPhysicalMemory=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysPhysicalMemoryAvail=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysVirtualMemory=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysVirtualMemoryAvail=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysPageFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysPageFileAvail=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysMemoryLoad=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysTickCount=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysUserName=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysMicrosoftNetwork=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysMicrosoftNetworkType=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDefaultPrinter=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysNetAdapter=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysIPAddress=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysSubnetMasks=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysGatewayAddress=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDNSAddress=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysHostName=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDomainName=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysPriWINSAddress=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysSecWINSAddress=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDHCPAddress=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDHCPGetLease=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDHCPExpireLease=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveA=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveAVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveAFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveATotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveAFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveB=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveBVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveBFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveBTotol=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveBFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveC=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveCVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
SysDriveCFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;
```

SysDriveCTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveCFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveD=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveDVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveDFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveDTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveDFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveE=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveEVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveEFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveETotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveEFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveF=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveFVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveFFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveFTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveFFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveG=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveGVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveGFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveGTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveGFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveH=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveHVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveHFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveHTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveHFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveI=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveIVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveIFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveITotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveIFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveJ=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveJVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveJFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveJTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveJFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveK=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveKVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveKFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveKTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveKFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveL=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveLVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveLFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveLTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveLFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveM=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveMVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveMFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveMTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveMFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveN=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveNVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveNFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveNTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveNFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveO=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveOVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveOFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveOTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveOFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveP=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDrivePVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDrivePFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDrivePTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDrivePFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
SysDriveQ=P;YYYYMMDD;HHMMSS;

SysDriveQVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveQFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveQTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveQFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveR=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveRVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveRFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveRTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveRFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveS=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveSVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveSFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveSTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveSFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveT=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveTVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveTFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveTTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveTFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveU=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveUVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveUFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveUTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveUFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveV=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveVVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveVFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveVTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveVFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveW=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveWVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveWFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveWTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveWFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveX=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveXVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveXFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveXTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveXFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveY=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveYVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveYFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveYTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveYFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveZ=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveZAVolume=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveZFile=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveZTotal=P;YYYYMMDD;HHMMSS;  
 SysDriveZFree=P;YYYYMMDD;HHMMSS;

```

=====
; 情報収集設定
; [DAT]: このファイルの更新日時を設定 (バージョン管理)
; [構文] 左辺 : SQL サーバ利用時は DB (フィールド名) と一致していなければならない
;          右辺(1): このファイルが更新された日時(YYYYMMDDHHMMSS)
=====
  
```

```

[DAT]
SysDatVersion=20031020000000
  
```

```

=====
; 情報収集設定
; [APPLICATION_9x]: Windows9x 系システムについて取得したい情報を設定
; [APPLICATION_NT]: WindowsNT について取得したい情報を設定
; [APPLICATION_ME]: WindowsMe について取得したい情報を設定
; [APPLICATION_2K]: Windows2000 について取得したい情報を設定
; [APPLICATION_XP]: WindowsXP について取得したい情報を設定
; [構文] 左辺 : SQL サーバ利用時は DB (フィールド名) と一致していなければならない
;          右辺(1): R/F (R:レジストリの値, F:ファイル及びフォルダの存在チェック)
;          (2): YYYYMMDD (更新日付)
;          (3): HHMMSS (更新時刻)
;          (4): R レジストリキー, F フォルダ名
;          (5): R レジストリサブキー, F ファイル名(ブランクの場合はフォルダの存在チェック)
;          (6): R レジストリ値(ブランクの場合はサブキーの存在チェック), F なし
=====

```

```

[APPLICATION_9x]
AppIEVersion=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Internet Explorer;Version;
AppRegisteredOwner=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion;RegisteredOwner;
AppAcrobatReader=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\Adobe\Acrobat 5.0\Reader\AcroRd32.exe;;;
AppNetMeeting=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\NetMeeting\conf.exe;;;

```

```

[APPLICATION_ME]
AppIEVersion=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Internet Explorer;Version;
AppRegisteredOwner=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion;RegisteredOwner;
AppAcrobatReader=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\Adobe\Acrobat 5.0\Reader\AcroRd32.exe;;;
AppNetMeeting=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\NetMeeting\conf.exe;;;

```

```

[APPLICATION_NT]
AppIEVersion=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Internet Explorer;Version;
AppRegisteredOwner=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion;RegisteredOwner;
AppMS03026=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\WindowsNT\CurrentVersion\HotFix\Q823980;;
AppAcrobatReader=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\Adobe\Acrobat 5.0\Reader\AcroRd32.exe;;;
AppNetMeeting=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\NetMeeting\conf.exe;;;

```

```

[APPLICATION_2K]
AppIEVersion=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Internet Explorer;Version;
AppRegisteredOwner=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion;RegisteredOwner;
AppMS03026=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Updates\Windows 2000\SP5\KB823980;;
AppAcrobatReader=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\Adobe\Acrobat 5.0\Reader\AcroRd32.exe;;;
AppNetMeeting=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\NetMeeting\conf.exe;;;

```

```

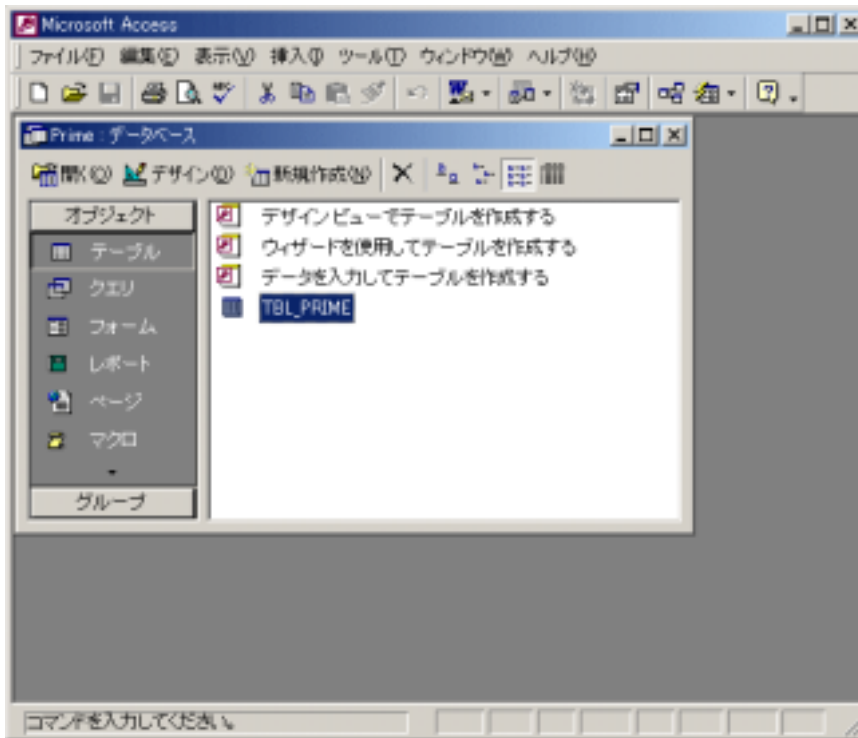
[APPLICATION_XP]
AppIEVersion=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Internet Explorer;Version;
AppRegisteredOwner=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion;RegisteredOwner;
AppMS03026=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Updates\Windows XP\SP2\KB823980;;
;AppMS03026=R;YYYYMMDD;HHMMSS;HKEY_LOCAL_MACHINE;SOFTWARE\Microsoft\Updates\Windows XP\SP1\KB823980;;
AppAcrobatReader=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\Adobe\Acrobat 5.0\Reader\AcroRd32.exe;;;
AppNetMeeting=F;YYYYMMDD;HHMMSS;C:\Program Files\NetMeeting\conf.exe;;;

```

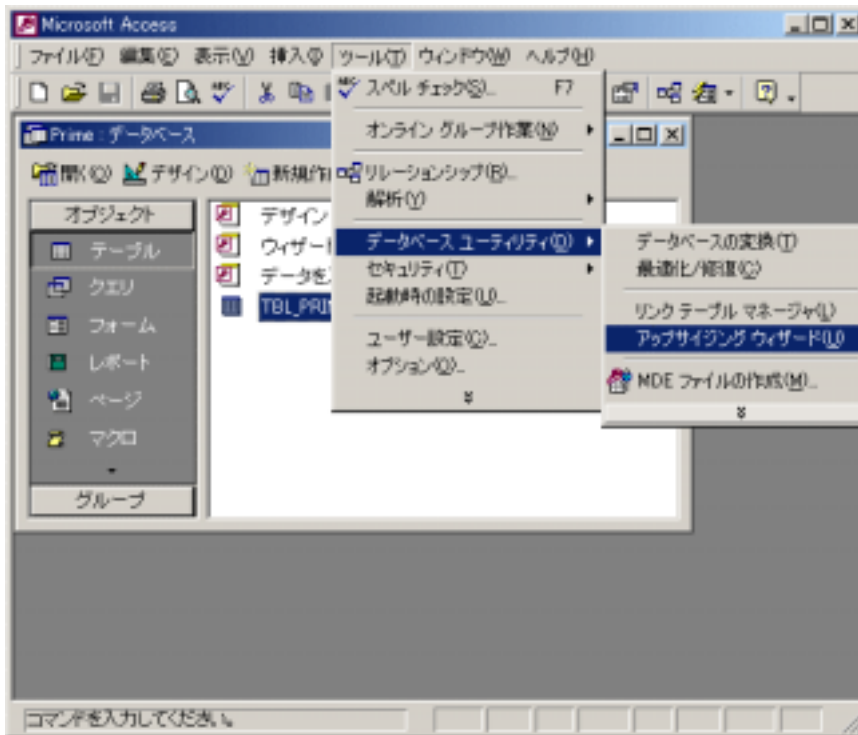
## 付録4 … SQL サーバおよび MSDE のデータベースセットアップ手順

システム管理プログラムをインストールすると Database ディレクトリの中に Microsoft Access のデータベースファイル(Prime.mdb)がコピーされます。これを Microsoft Access のアップサイジングウィザードを利用して、Microsoft SQL サーバもしくは MSDE(Microsoft Data Engine)にデータベースを作成します。

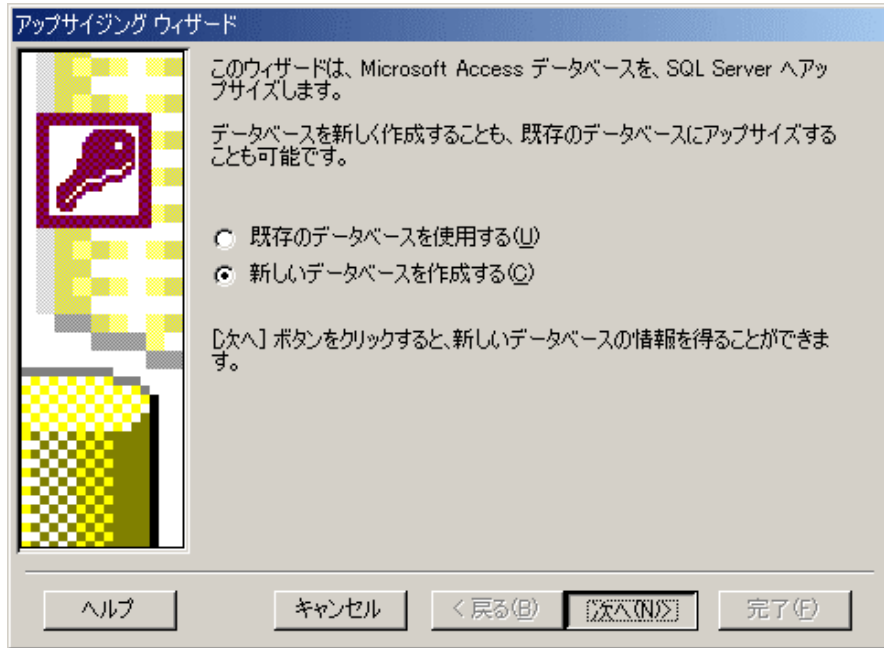
1. Microsoft Access を起動して「Prime.mdb」を開きます。



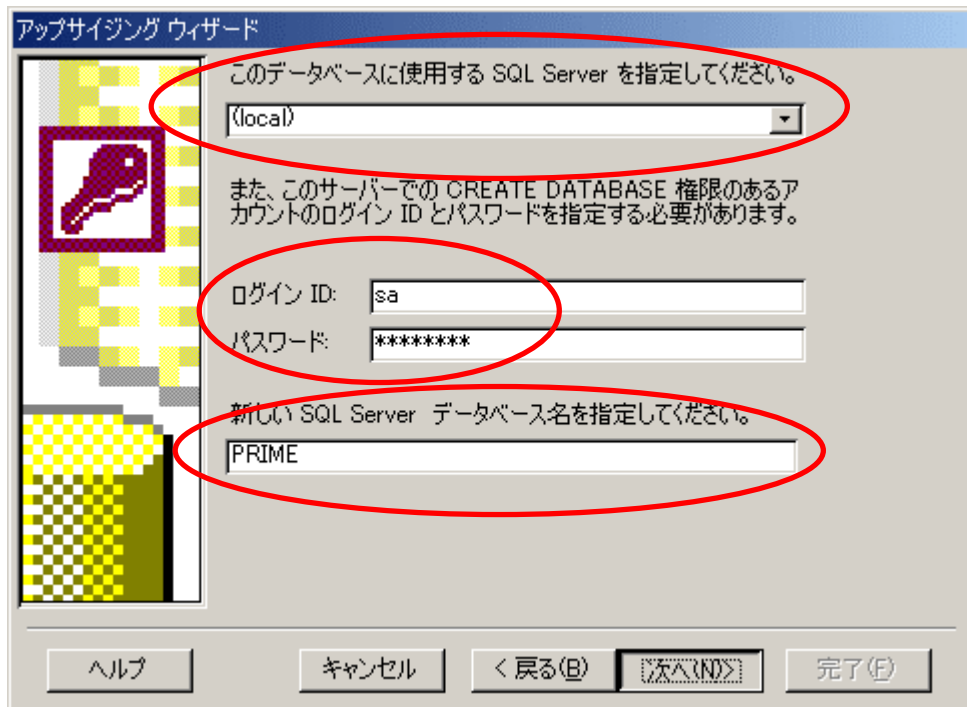
2. 「ツール」 「データベースユーティリティ」 「アップサイジングウィザード」



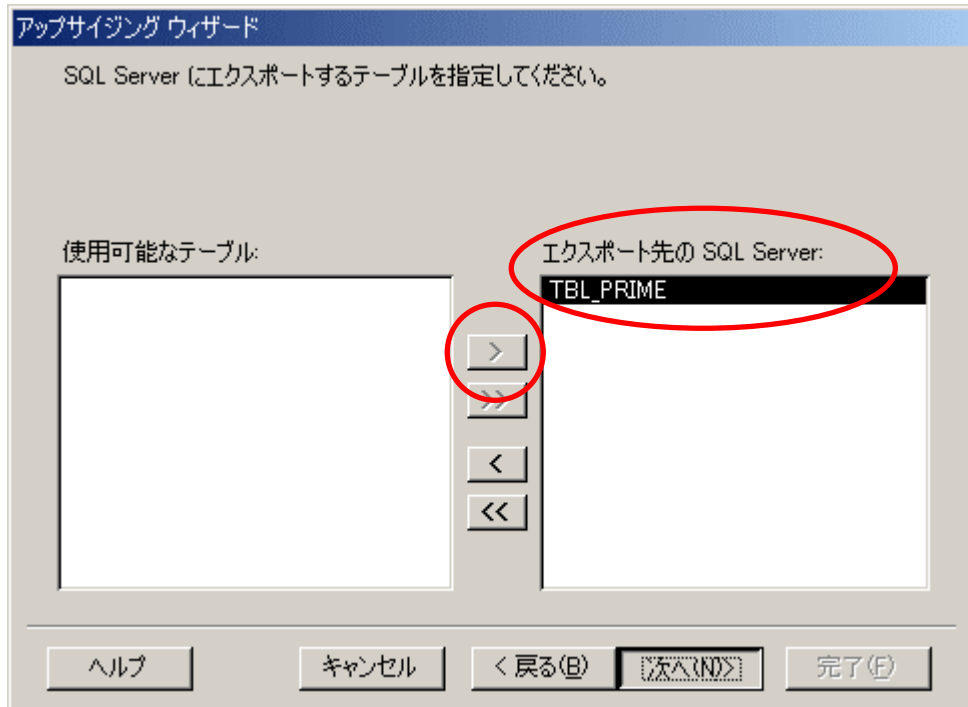
3. 「新しいデータベースを作成する」を選択します。



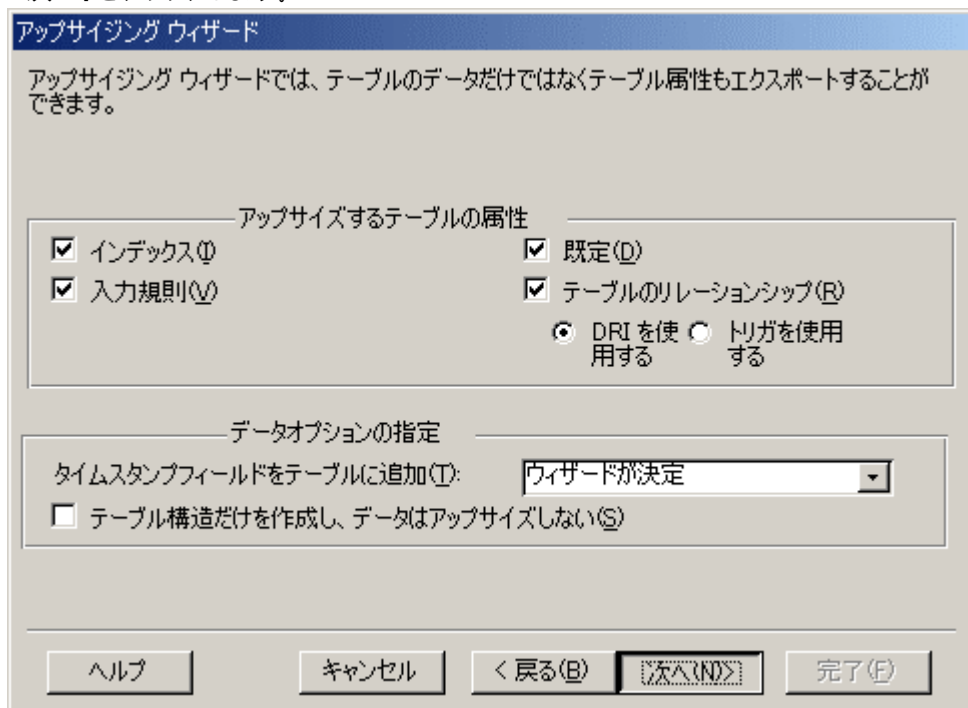
4. SQL Server を指定し、「PRIME」データベースを作成します。



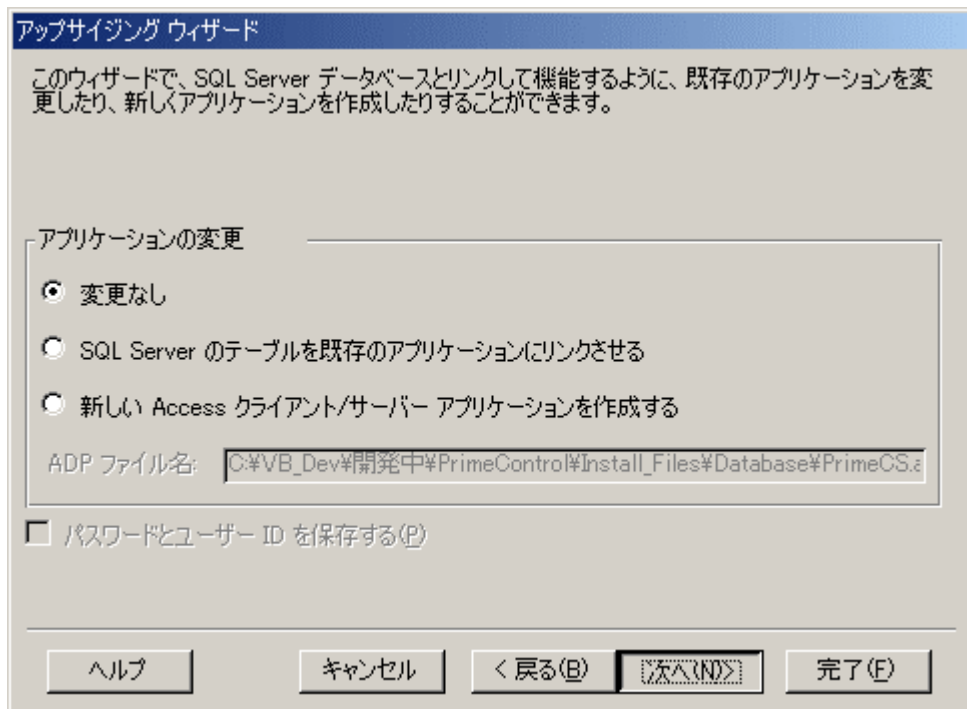
5. 「TBL\_PRIME」をエクスポート先に指定します。



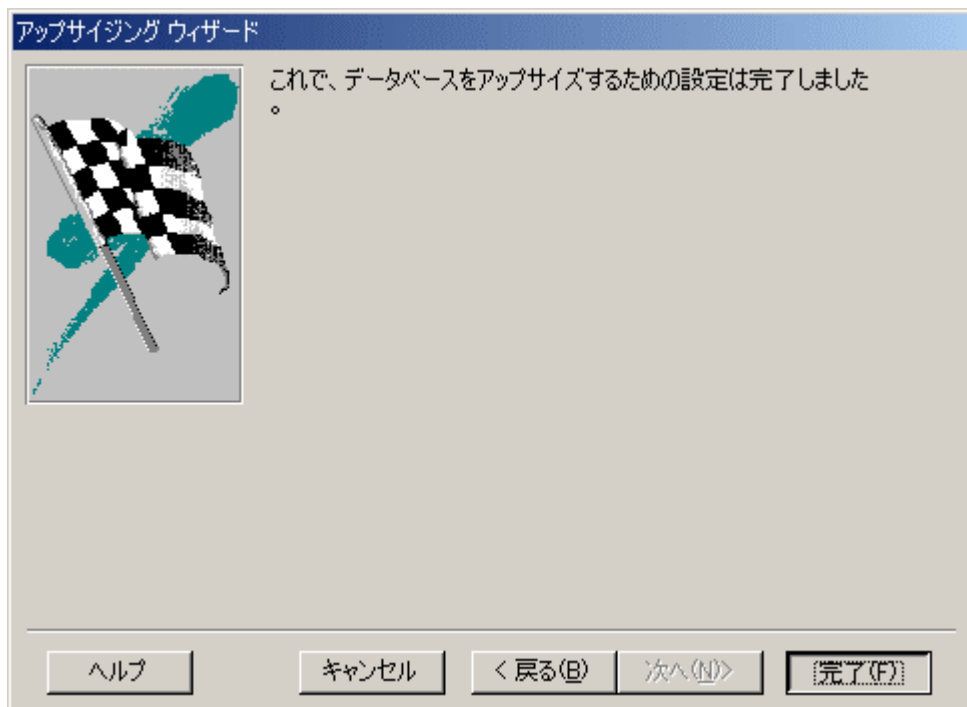
6. 「次へ」をクリックします。



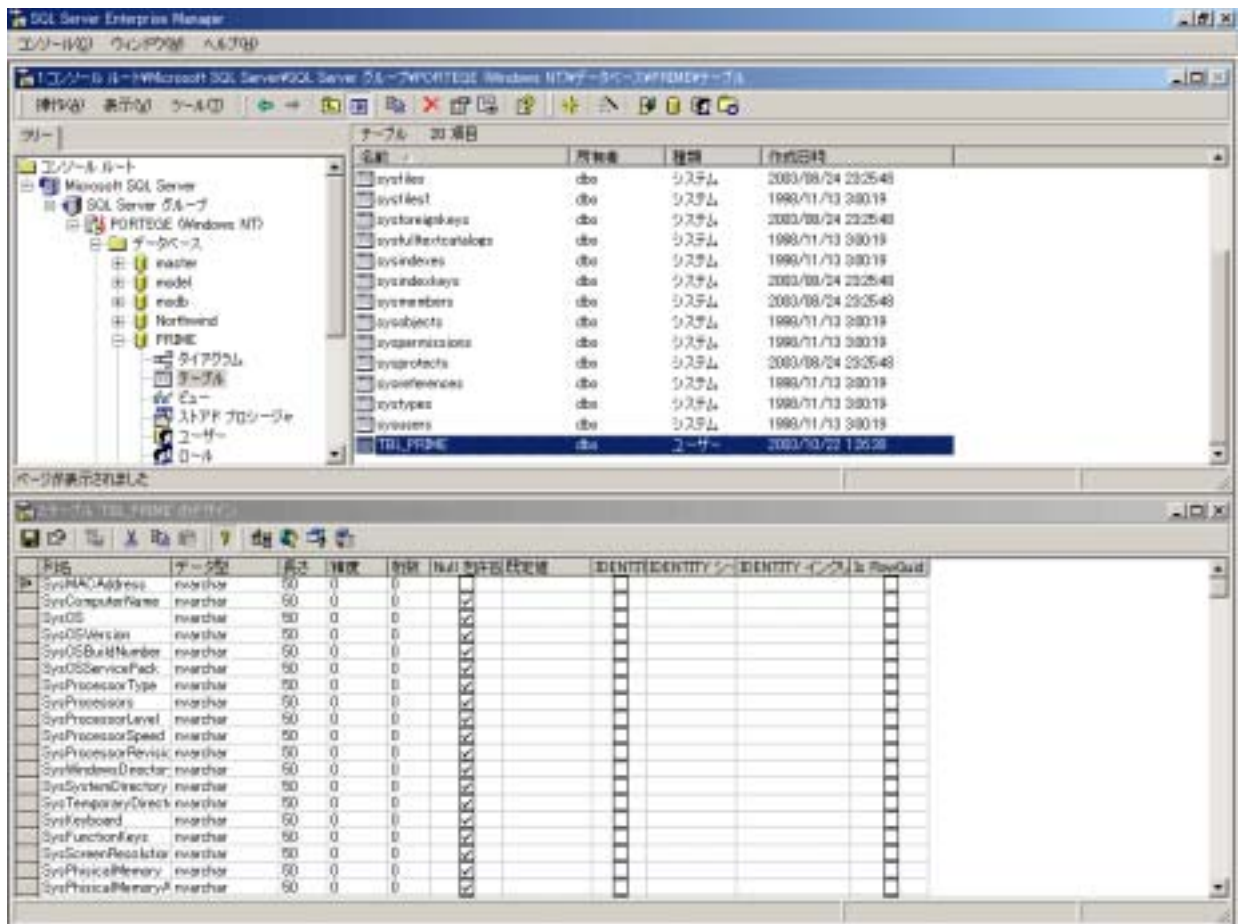
7. 「次へ」をクリックします。



8. 「完了」をクリックすると、データベースのアップサイズが実行されます。



9. SQL Server Enterprise Manager (SQL サーバの場合) でデータベース (PRIME) とテーブル (TBL\_PRIME) が正しく作成されたことを確認します。



テーブル (TBL\_PRIME) の内容は次ページ以降の付録 5 を参照ください。

## 付録5 … データベース(PRIME)のテーブル(TBL\_PRIME)の内容

Microsoft Access のアップサイジングウィザードを利用して SQL サーバもしくは MSDE に PRIME データベース(テーブル名 TBL\_PRIME)を新規に作成します。以下のフィールドが作成されます。

SysMACAddress	キー 文字列(50) NULL は許容しない
SysComputerName	文字列型(50) NULL を許容
SysOS	文字列型(50) NULL を許容
SysOSVersion	文字列型(50) NULL を許容
SysOSBuildNumber	文字列型(50) NULL を許容
SyOSServicePack	文字列型(50) NULL を許容
SysProcessorType	文字列型(50) NULL を許容
SysProcessors	文字列型(50) NULL を許容
SysProcessorLevel	文字列型(50) NULL を許容
SysProcessorSpeed	文字列型(50) NULL を許容
SysProcessorRevision	文字列型(50) NULL を許容
SysWindowsDirectory	文字列型(50) NULL を許容
SysSystemDirectory	文字列型(50) NULL を許容
SysTemporaryDirectory	文字列型(50) NULL を許容
SysKeyboard	文字列型(50) NULL を許容
SysFunctionKeys	文字列型(50) NULL を許容
SysScreenResolution	文字列型(50) NULL を許容
SysPhysicalMemory	文字列型(50) NULL を許容
SysPhysicalMemoryAvail	文字列型(50) NULL を許容
SysVirtualMemory	文字列型(50) NULL を許容
SysVirtualMemoryAvail	文字列型(50) NULL を許容
SysPageFile	文字列型(50) NULL を許容
SysPageFileAvail	文字列型(50) NULL を許容
SysMemoryLoad	文字列型(50) NULL を許容
SysTickCount	文字列型(50) NULL を許容
SysUserName	文字列型(50) NULL を許容
SysMicrosoftNetwork	文字列型(50) NULL を許容
SysMicrosoftNetworkType	文字列型(50) NULL を許容
SysDefaultPrinter	文字列型(50) NULL を許容
SysNetAdapter	文字列型(50) NULL を許容
SysIPAddress	文字列型(50) NULL を許容
SysSubnetMasks	文字列型(50) NULL を許容
SysGatewayAddress	文字列型(50) NULL を許容
SysDNSAddress	文字列型(50) NULL を許容
SysHostName	文字列型(50) NULL を許容
SysDomainName	文字列型(50) NULL を許容
SysPriWINSAddress	文字列型(50) NULL を許容
SysSecWINSAddress	文字列型(50) NULL を許容
SysDHCPAddress	文字列型(50) NULL を許容
SysDHCPGetLease	文字列型(50) NULL を許容
SysDHCPExpireLease	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveA	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveAVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveAFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveATotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveAFree	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveB	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveBVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveBFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveBTotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveBFree	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveC	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveCVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveCFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveCTotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveCFree	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveD	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveDVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveDFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveDTotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveDFree	文字列型(50) NULL を許容

SysDriveE	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveEVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveEFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveETotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveEFree	文字列型(50) NULL を許容
⋮	
SysDriveX	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveXVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveXFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveXTotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveXFree	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveY	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveYVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveYFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveYTotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveYFree	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveZ	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveZVolume	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveZFile	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveZTotal	文字列型(50) NULL を許容
SysDriveZFree	文字列型(50) NULL を許容
SysDatVersion	文字列型(50) NULL を許容
AppLEVersion	文字列型(50) NULL を許容
AppRegisteredOwner	文字列型(50) NULL を許容
AppMS03026	文字列型(50) NULL を許容
AppAcrobatReader	文字列型(50) NULL を許容
AppNetMeeting	文字列型(50) NULL を許容
LastUpdateBy	文字列型(50) NULL を許容
LastUpdateDate	文字列型(50) NULL を許容
LastUpdateTime	文字列型(50) NULL を許容